



新時代のアフリカ・日本間交流促進にむけた官民連携懇談会

Public-Private Partnership Meeting for New Africa-Japan Relationship

■趣旨■

2008年5月28日～30日、第四回アフリカ開発会議(TICAD IV)が、日本政府・国連開発計画(UNDP)・国連(OSSA)・世界銀行の共催で横浜にて開催されます。TICADは、1993年から5年に一度開催されてきましたが、4度目のTICAD(TICADIV)を迎える今年、拡大しつつある日本とアフリカの交流を後押しするため、「日本アフリカ交流年」が設定されました。

アフリカは、日本との関係が薄い地域となっております。これまで、アフリカと日本との間の交流も限定的で、結果として日本からの援助も全体の10%を占めるに過ぎませんでした。しかし、TICAD IVとG8サミットの開催が同じ年に開催されるとともに、サミットの主題にアフリカが入り、日本でアフリカに関わる者にとって、何十年かに一度のまたとない好機が訪れています。日本でのアフリカへの関心は高まりつつあります。とはいえ、一般市民からの関心は、まだまだ十分ではありません。

長年にわたり、日本でアフリカ理解を促進してきた私たち日本のNGOは、政府や他の民間セクターの諸機関・アクターとともに、「日本アフリカ交流年」に主体的な役割を果たしたいと考え、これまでTICAD 外務省・NGO 定期協議会の場を通じて、官民連携会議の開催を提案してきました。

具体的には、5月に開催が予定されている第七回 TICAD 外務省・NGO 定期協議会の場を活用し、日本でアフリカに関わる多様なアクターが一同に会し、ざっくばらんに懇談する場を創造することを提案いたします。直近に迫るTICAD IVに向けて、幅広い層の皆さんとともに、太く長く続くようなアフリカ・日本交流関係を促進するための方策を話し合いたいと考えています。

【目的】

日本国内でアフリカに携わる多様なアクターが一同に会し、日本とアフリカの間の交流を促進するための方策を話し合い、TICAD IVの成果物となる行動計画(アクション・プラン)に対するインプットをする。

【概要】

日時:2008年5月7日(水) 14:45-16:30

場所:憲政記念館 第一会議室 <http://arch.cside.com/f-kensei.html>

東京都千代田区永田町 1-1-1

参加者:政府省庁(外務省、アフリカ関係省庁、文科省・自治省)、在京アフリカ外交団(ADC)、JICA、JBIC、NGO、民間企業地方自治体、高等教育機関、メディア等 アフリカに関わる諸関係者

主催:TICAD IV・NGO ネットワーク(TNnet)

後援:外務省、駐日アフリカ外交団

言語:逐次通訳(日本語・英語)

協力:東京外国語大学国際コミュニケーション・通訳コース

プログラム:

- ◆ 第一部: 第七回 TICAD 外務省・NGO 定期協議会(TNnet と外務省)
13:30～14:30 第二部の参加者はオブザーバーとして参加可能
- ◆ 第二部: 新時代のアフリカ・日本間交流促進にむけた官民連携懇談会
14:45～16:30 テーマ:「アフリカ・日本間交流を促進するための課題と今後」



司会：廣野 良吉（成蹊大学名誉教授）

第一部 第七回 TICAD 外務省・NGO 定期協議会 主催：TNnet・外務省 参加者：外務省・NGO オブザーバー参加：国際機関、JICA、JBIC、在京アフリカ外交団、メディア		
13:30-14:30	① ガボン閣僚級準備会合を踏まえた横浜宣言・行動計画に関する審議 ② TICAD IV 本番の参加について ③ TICAD IV 後のフォローアップ -洞爺湖サミットとのつながり -TICAD フォローアップメカニズム	参加者： NGO、外務省 オブザーバー： アフリカ外交団、国際関係機関、その他
休憩（14:30-14:45） *放映 中部大学青木澄夫ゼミ・タンザニア研修旅行映像		
第二部 新時代のアフリカ・日本間交流促進にむけた官民連携懇談会 主催：TNnet テーマ：「アフリカ・日本間交流を促進するための課題と今後」 協力：東京外国語大学国際コミュニケーション・通訳コース		
14:45-14:50	趣旨説明	TICAD IV・NGO ネットワーク（TNnet）
14:50-15:00	開会挨拶	外務省の取り組み紹介にかえて 外務省アフリカ審議官 木寺昌人氏 アフリカ外交団の取り組み紹介にかえて アフリカ外交団副団長ガボン共和国大使 ジャン・クリスチャン・オバム閣下
15:00-15:55	各界によるアフリカ・日本間交流の事例紹介 ～先行事例から学ぶ～	
	(1) 地方自治体の試み	発表（5分） 横浜市開港 150 周年・創造都市事業本部戦略的の事業誘致課担当課長 林下幸造氏 コメント（3分） 財団法人 自治体国際化協会（CLAIR）支援協力部国際協力課 課長 藤井 清氏
	(2) 学校の試み	発表（5分） 横浜市立大門小学校 加藤 直美氏（教員） 発表（8分） 早稲田大学 岩井 雪乃氏 （発表学生）遠藤 春佳・佐藤 祐未乃・八木 克文 発表（5分） 東京外国語大学外国語学部 4 年/PELUM ウガンダインターン 川本 麻美氏（代理：榊原 あや氏） コメント（5分） 文部科学省 大臣官房国際課 国際協力政策室長 梅澤 敦氏
	(3) 企業の試み	発表（5分） 株式会社 道祖神（旅行会社） 紙田 恭子氏（Sales Representative） 発表（5分） リー・ジャパン株式会社 取締役 細川 秀和氏
	(4) 映画・音楽・雑誌の試み	発表（3分） 有限会社 アップリンク 取締役社長 浅井 隆氏 発表（5分） FAN3・ファンサバ 代表 土屋 萬佐子氏 発表（5分） 株式会社国際開発ジャーナル社 編集長日下 基氏
15:55-16:05	質疑応答	
16:05-16:24	オープン・ディスカッション 「アフリカ・日本間交流を進めていくには課題をどうやって乗り越えるか？」	
16:24-16:27	総括（TICAD IV・NGO ネットワーク 大林 稔氏）	
16:27-16:30	閉会挨拶	アフリカ市民委員会 議長 グスターブ・アサー氏